

大学

企画課管理用 研 一 B 一 5

推進主体	学長室研究支援センター
責任者	学長室部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
研	一	B	⑤競争的研究資金(科学研究費補助金等)の獲得拡大	令和4年度	令和6年度	あり(予定)

① 目的・内容
 令和21年度に本学があるべき姿=ビジョンを実現するため、競争的研究資金(科学研究費補助金等)の獲得を拡大する。

【学習院大学科研費 Re-Challenge 支援制度】
 ・目的: 科学研究費補助金獲得を拡大
 ・内容: 科研費に代表者として応募し不採択であった者に、種目及び審査結果、応募回数等に応じて、2種類の支援を行う。
 ・支援: ①科研費ステップアップ制度 ②外部資金への応募に向けた特別研究費(若手研究者向け)

①[中期予算]科研費ステップアップ制度 研究種目: 基盤A・B、支援: 1件100万円~200万円
 ②[物件費]外部資金への応募に向けた特別研究費(若手) 研究種目: 基盤C・若手研究、支援: 1件40万円

上記①は令和3年度学校長裁量枠事業として既に取り組んでいる内容である。令和4年度からは中長期ビジョン実現のために、研究種目: 基盤A・Bの不採択者への研究費助成のみではなく、基盤A・Bへの応募者を増やすことも視野に入れた取り組みも検討を進める。従前の研究支援センターホームページへの掲載やG-Portでの応募要領の配信に加え、研究室を回るなど、日頃から積極的に研究者とのコミュニケーションを図り、基盤A・Bへの応募についての研究者の考えを聞かせてもらえるような関係作りなどを実施する。また、基盤Cへの採択実績のある研究者でも基盤A・Bに採択されることは容易ではないため、初めて基盤A・Bに応募し不採択となった研究者に対する助成も検討するなど、新たな助成の在り方も検討することで、応募件数の増加も目指し、競争的研究資金の獲得拡大へ繋いでいくことを目指す。

上記②は研究支援センター物件費として引き続き活用する。

本件については、令和3年度に学校長裁量枠で取り組んだ内容を発展させて中長期計画として申請するが、令和5年度までに実施内容・実績等を自己点検、見直しを図ると共に、本事業を継続することが望ましい、との判断に至った場合には、予算面も含めてどのように継続していくか改めて検討することとする。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

本事業は不採択課題から新規採択を目指すものである。よって、到達目標としては①科研費ステップアップ制度、②外部資金への応募に向けた特別研究費(若手)、それぞれで各年度1件以上の採択を目標とする。

獲得拡大という実施計画に対しては、①であれば1件100万円の支援が最大5000万円の獲得に繋がり、②は1件40万円の支援が最大500万円の獲得に繋がるため、中長期的に推進すべき事業であると明言できる。

令和3~5年度にかけて実施し自己点検を行い、対象事業の見直しを行う。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	→ → → → 事業実施	→ → → →	→ → → → 自己点検、見直し	→ → → → 点検結果に基づく事業実施	→ → → →	→ → → →	→ → → →

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	①科研費ステップアップ制度採択実績	各年度1件以上の採択を目標とする。					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標	設定なし	採択1件以上	採択1件以上	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)
実績		1	R6に判明				
2	②外部資金への応募に向けた特別研究費(若手研究者)採択実績	各年度1件以上の採択を目標とする。					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標	設定なし	採択1件以上	採択1件以上	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)	採択1件以上(見直しあり)
実績		1	R6に判明				

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	4月:対象者へ個別周知 5月:申請受付、内容確認 5月:研究支援センター運営委員会審議・決定 6月:交付内定通知、予算化、予算執行 9・10月:科研費応募確認 2月:執行状況確認 3月:実施状況報告	4月:対象者へ個別周知 5月:申請受付、内容確認 5月:研究支援センター運営委員会審議・決定 6月:交付内定通知、予算化、予算執行 9・10月:科研費応募確認 →以上まで実施済み。 2月:執行状況確認 3月:実施状況報告 今後の課題は年度末に総括予定。実績はR5に判明。 ★進捗段階:「実施展開」
令和5年度 (2023年度)	4月:対象者へ個別周知 5月:申請受付、内容確認 5月:研究支援センター運営委員会審議・決定 6月:交付内定通知、予算化、予算執行 9・10月:科研費応募確認 以上まで実施済み。 2月:執行状況確認 3月:実施状況報告	4月:対象者へ個別周知 5月:申請受付、内容確認 5月:研究支援センター運営委員会審議・決定 6月:交付内定通知、予算化、予算執行 9・10月:科研費応募確認 以上まで実施済み。 2月:執行状況確認 3月:実施状況報告 以上実施予定 ★進捗段階:「実施展開」
令和6年度 (2024年度)	学校長裁量枠事業を起点としているため、本事業は令和5年度にて事業終了。以降については、物件費にて予算要求済み。 令和6年度からは別途事業計画申請済み。	
令和7年度 (2025年度)		
令和8年度 (2026年度)		
令和9年度 (2027年度)		